

授業科目 言語発達障害Ⅰ

【担当教員名】 市島民子	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

言語発達障害の中で、精神遅滞、広汎性発達障害の特徴を学ぶ。
 評価方法を障害の診断基準および発達の観点から理解する。
 指導の諸技法、指導のためのプログラム、指導上の留意点
 検査の種類とその利用、検査の実際、結果の読み方と報告書の書き方を演習する

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

1. 小児の言語障害全体を理解する
2. 言語発達障害の成因となる障害の言語・行動特徴および評価（診断）基準を学ぶ
3. 指導法と障害に即した指導方法を理解する
4. 指導の実際：1 課題に対して指導のステップを組む
5. インテークの方法および初回評価について学ぶ
6. 検査の種類と目的にあわせた使用
7. 検査演習
8. 検査結果に関する報告書作成

回数	授業計画又は学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	小児言語障害・言語発達障害	小児の言語障害全体と関連領域		講義
2	精神遅滞（知的障害）			講義
3	精神遅滞	画像において実際に学ぶ		講義・視覚教材
4	広汎性発達障害			講義
5	広汎性発達障害	画像において実際に学ぶ		講義・視覚教材
6	指導法	指導法全体・障害別による指導法/施設紹介		講義・視覚教材
7	指導の実際	スモールステップを組む		まとめ
8	検査の種類と使用法	言語発達諸検査		演習開始
9	インテーク・初回評価			
10	検査の実際	I T P A（言語学習能力診断検査）予定		解説（2コマ連続）2グループに分ける
11		I T P A（言語学習能力診断検査）		2名1組で実施する
12		I T P A（言語学習能力診断検査）		演習（2コマ連続）2グループに分ける
13		I T P A（言語学習能力診断検査）		
14		I T P A（言語学習能力診断検査）		演習（2コマ連続）2グループに分ける
15		I T P A（言語学習能力診断検査）		
16	検査結果	検査結果の読み方および報告書の書き方		課題（提出）
17	まとめ			

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書				
参考書	入門コース・ことばの発達と障害3：ことばの障害の評価と指導 大石敬子編 大修館書店 2001年 2400円 I T P Aによる学習能力障害の診断と治療 三木安正・上野一彦・越智啓子共訳 日本文化科学社 2002年			
その他の資料				

【評価方法】 出席、小テスト（講義） 演習課題提出	【履修上の留意点】
---------------------------------	-----------